

シットイングアームレスリング競技について

この度、2024 年全日本選手権大会からカテゴリーとして日本バリアフリーアームレスリング連盟管轄の元、開催いたします。

シットイングアームレスリング大会開催の理念と致しましては、障害者と健常者の隔たりなくかなり近い条件の中で競技して頂けるように障害のある方でも気軽にアームレスリングの世界に入って頂けるようにしたい。また一般の方がまず腕相撲からアームレスリングを経験されると思いますがほとんどの方がまずは座った状態で腕相撲をすると思います。その延長上に現在の立って行うアームレスリングとなっていると思いますが、そのまま座った状態でアームレスリングを行えば視覚障害の方も安全に競技することが出来、車椅子の方も対戦相手と同じ高さで体重をかけずに健常者・一般選手と戦う事が出来る競技となります。

また 2020 年よりコロナの為に休止していた車椅子選手権を今一度復活させたい事と、2025 年からアジアユースパラリンピックの競技にもアームレスリングが競技に選ばれたりアーム界にも新たな風が吹いている状況で日本からも新たな競技によってアームレスリングを盛り上げたいと考え日本で初めてシットイングアームレスリング大会を開催致します。これを機会に日本でシットイングアームレスリングを普及して行こうと思っております。

競技内容ですが、車椅子がそのまま入る高さで健常者は椅子に座っての競技になります。車椅子対車椅子、車椅子対障害者、車椅子・障害者対健常者、健常者対健常者の対戦を考えておりますが、健常者については、腰か足の固定も考えております。

一般社団法人

J A W A 日本アームレスリング連盟
理事長 和佐 義文